

こころくんの 船乗りへの道



kotoba

はじまりはじまり

好奇心旺盛なちびっこるくのこるくん



「こんにちはー」

いろんなコトが知りたい♪見たい♪

今回は何に興味を持ったのかな？

その1 いろいろなお船

夏休み

横浜にやってきたちびっこるくの**こころくん**



「わーい♪」

当日はいいお天気で、港にはいろいろな種類のお船がいました

クルージング&レストラン船 ROYAL WING



「これ、乗ったことあるよ。ごはんを食べながら、海の景色が見れるんだよねっ」

測量船 拓洋（手前），巡視船 いず（後方）（第三管区海上保安本部）



「測量船（そくりょうせん）って、海のデータを集めて、海の地図（海図）とか作るんだって
巡視船（じゅんしせん）は、海の安全を守るため、24時間海をパトロールするんだって」

清掃兼油回収船 ベいくりん（国土交通省所有）



「清掃兼油回収船（せいそうけんあぶらかいしゅうせん）って
東京湾に浮いてるゴミや油を回収して、海をキレイにしてくれるんだって」

はじめてみる船に、**こころくん**は興味しんしんです



「なにあれ、なにあれえー」

なにやら、別の船を見つけたようです

帆船 日本丸（にっぽんまる）



「きっねんしゃしーん♪」

日本丸メモリアルパークには

『帆船 日本丸』が展示されているのですが

いつも帆を張っているわけではないので

こころくんには『ロープだらけのお船』にしか見えないみたい



←こころくんの帆船のイメージ

この『帆船 日本丸』は”練習船”といって、

将来、船の仕事をしようとする学生さん達が

実際に海での航海術（船の動かし方，船の中での生活の仕方）を

訓練するために建造された船です

日本丸メモリアルパークに展示されているのは初代のもので

現在は二代目の『帆船 日本丸』が練習船として現役で活躍中です

ちょうど

近くの港で練習船が一般公開をしていたので

こころくんは早速練習船を見に行くことにしました



「うわーい」

その2 一般公開

”練習船の一般公開”にやってきた **こころくん**



「すごーい」

はじめて間近に見る大きな船！

中に入ってさっそく探検開始です

まずは

船内の階段を上り

船橋（船の操縦をするところ）にやってきました

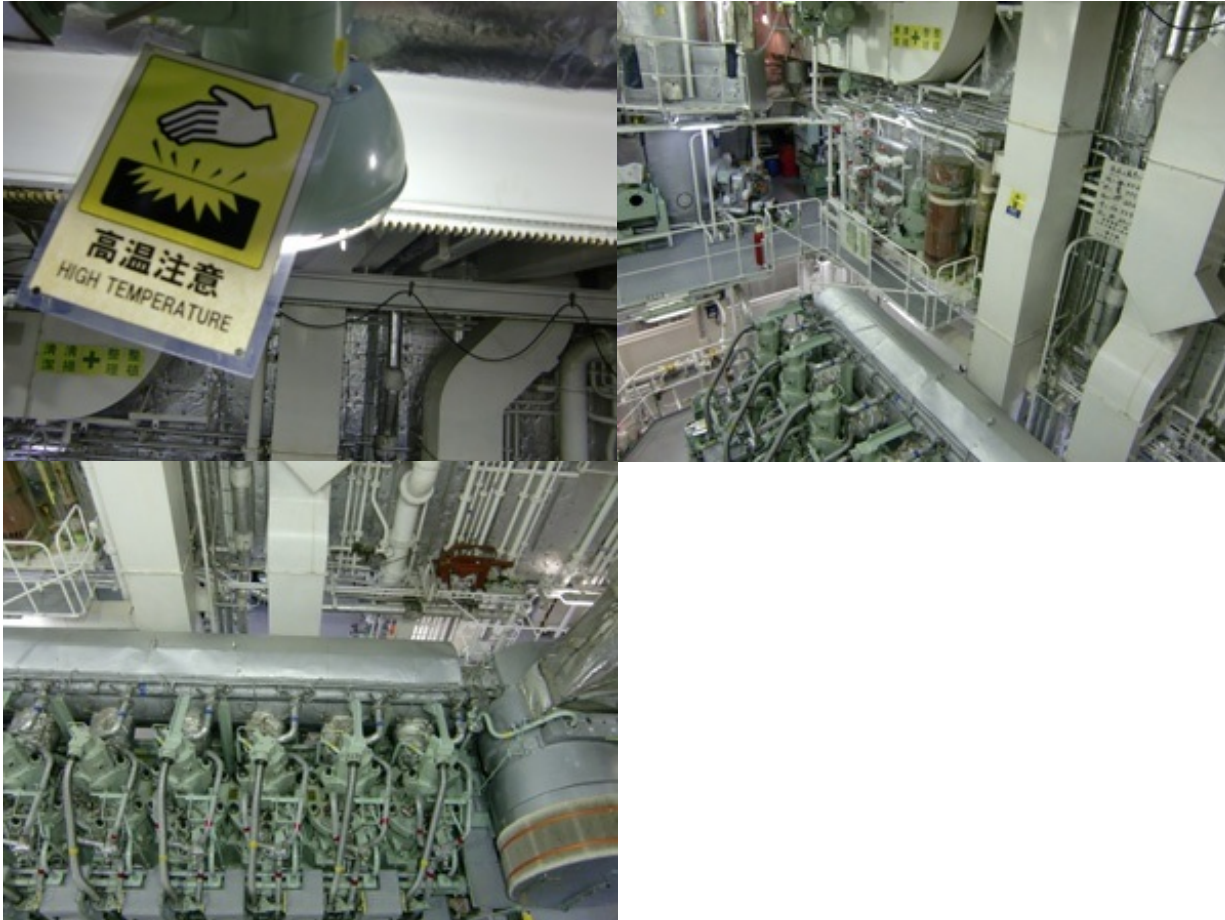




「ぜんしーん」

はじめて見る器具や機械におおはしゃぎの **こころくん**

次にやってきたのは機関室



複雑そうな機械がたくさん

何がどうなっているのか、親切な人に教えてもらいましたが

まったく覚えられません



「ま、こどもだからいいよね」

船内には教室もあります



「ひろーい」

180人収容可能な階段教室（席が段々になっている教室）で

学生さんたちが授業を受ける場所です

今度は甲板にやってきました



「よいしょ、よいしょ」

木甲板をヤシの実でお掃除中です

水（海水）をまいた後に砂をまき、ヤシの実の殻をタワシ代わりに磨くそうです

裸足であるため夏場はいいけど、冬場は大変だそう



「しもやけるうー」

お船の見学もひと段落

いろんな船を見ることができて

こころくんは大満足です

でも・・・



「今度は動くお船に乗りたいなー」

その3 体験航海①

動くお船に興味津々の**こころくん**

ちょうどタイミング良く

『体験航海』に参加できることになりました



「うっわーい♪ 別にコネなんか使ってないよーう♪」

今回の『体験航海』は

国立広島商船高等専門学校の校内練習船”広島丸”を使用し

2時間程度の”**船の旅**”を通じて、船や航海のことを学び

仲間との共同作業や生活を体験するというものです

1日目

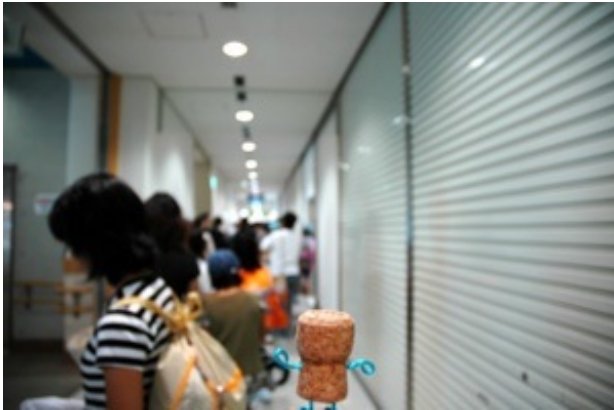
集合場所は宇品旅客ターミナル



「いちばんのりい〜♪」

と思いきや

受付には長い列が出来ていました



「いそげっ、いそげっ」

無事受付も済み、会場で待っていると



入団式が始まりました



参加する子供たちも、つきそいの父兄も真剣に話を聞いています

注意事項説明のあとは

シミュレーターの実演が始まりました



シミュレーターとは

実物（本物の船や飛行機）で訓練する代わりに

室内で同じ状況（操作、視界等）を作り出し、訓練できる装置です



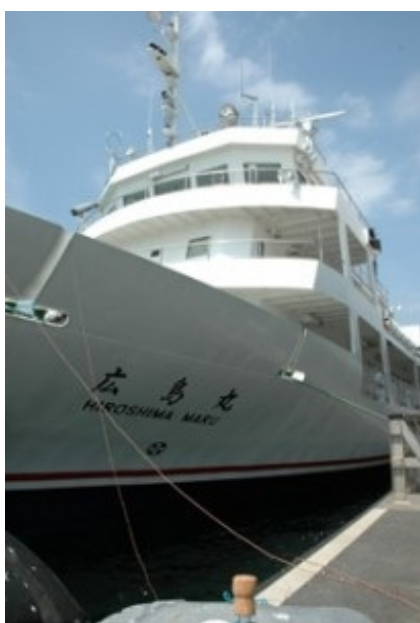
「ぼくもやったよ～」

出発前のオリエンテーションも終わり

いよいよ”広島丸”の到着する桟橋へと向かいます



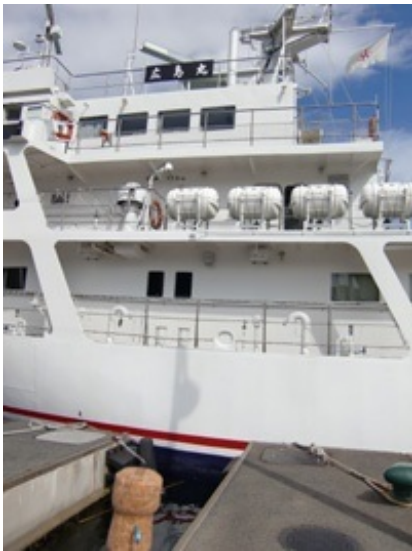
「きたきたー」



「うわあー、おおきいなあー」

今回乗船する”広島丸”は

総トン数234トン，全長57.0メートル，幅10.2メートルのお船です



「どきどき」

船員さんがタラップをおろしてくれて



いよいよ乗船の時間がきました



みんなきちんと並んで



上まで上がって



船員さんのお話に耳を傾けています

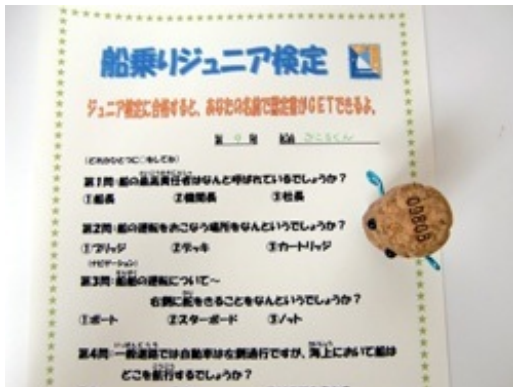
「どきどき」

船内では

ゲームやロープワークをしたり、船員さんのお話を聞いたり

そして

2日目にはおさらいを含めた『船乗りジュニア検定』が行われる予定です



「ぼくにも出来るかなあ・・・」

いよいよ2時間ちょっとの船旅の始まりです！



「どきどき」

その3 体験航海②

広島・宇品港から江田島・小用港までの2時間ちょっとの時間

船内ではチームに分かれて過ごします



ゲームをしたり



お話を聞いたり



ロープワークを教わったり

「へー」

今日学んだことは明日の『船乗りジュニア検定』に出るのです

その内容はこんな感じ

- ・ 船の速度を表す単位は”ノット(結び目)”といって
1 時間に 1 マイル(1,852m)進むスピード
- ・ 船の右側は右舷（うげん）、オモカジ、スターボード
- ・ 船の左側は左舷（さげん）、トリカジ、ポート
- ・ もやい結びは別名「キング オブ ノット（結びの王様）」と呼ばれ
結びやすくけど、ほどけにくい

聞き慣れない言葉ばかりで

こころくんの頭はぱんぱんです



「だけど、すごくたのしいよーう」

その3 体験航海③

遊んだり、学んだり

次は船内見学です



「取材の人たちと一緒にブリッジへいきまーす」



「コンパス、コンパス」



「無線機、無線機」

船内には

色々な機械や色々なお部屋がありました



「お洗濯する場所ー」



「女湯だっー」



「これなあに？」



こころくんの気になる『これ』は

”傾斜器（けいしゃき）”といって、船がどれだけ揺れているか分かる道具です

いまはどうやら”1度”揺れてるみたいです



「ふーん」

船外にもいろんなモノがありました



「なにこれー」

これは、救助艇といって

救助や避難を目的とした小型のボートです



「お船の中にお船があるんだねっ」



「いかだー」



「ライフジャケットー」



「うきわー」



「・・・なんだか、命を助けるものばかりだよ・・・」

『生命に関わる緊急事態』は

陸上でも海上でも起こりうる事態ですが

万が一のことが起こった場合のことを想定して

船の上にはいろいろな救命道具を備えておく必要があります

何かが起こった場合、そこは広い海の上であり

すぐに助けがくるとは限らないからです



「けっこう、命がけー」

何もないに越したことはないのですがね

その3 体験航海④

船の上の探検はまだまだ続きます



「スイッチ、いろいろー」



「通路はせまめー」



「自転車もおいてあるー」



「あれなあに？」

こころくんが気になる「あれ」は

煙突で、『ファンネル』といいます

側面にはマーク（ファンネルマーク）がついていて

会社や学校によって違います



「へー」



「作業艇に乗ってみたよ」

船はどんどん進んでゆき・・・



船員さんたちが入港の準備を始めました



「じー」

そろそろ目的地（江田島）に着くようです





「まだ乗っていたいよう・・・」

その3 体験航海⑤

目的地まであとわずか



下船のためにみんなが木甲板に集まってきました

しばらくして・・・



「ついたっ！」

目的地の江田島に到着です



順序よくみんな無事に下船できました

夕飯はバーベキュー

お風呂に入った後は反省会

こうして一日目は慌ただしく過ぎていきました



「下船してからの経過が早足一」

そんなわけで二日目の朝です



「ええっ！」

慌ただしい展開ですが

朝ごはんを食べた後は

すぐもう帰りの準備をしなくてはなりませんでした



「いっそげえー」



順序よくきちんと乗船した後は

予告した通りの『船乗りジュニア検定』が行われました





こころくんも一所懸命参加中

「よいしょっと」

2時間ほどで広島港に着きました

お船にさよならをしてから



「ありがとう」



「まったねえー」

あとは”解散式”を残すのみ



検定認定証の授与式も無事終わり



みんな立派な「船乗りジュニア」になれたようです

このちっちゃな船旅を通して

ちびっここるくの感想は！



「すこーしだけ、船のことが分かったような気がするよーう」

少しだけでも大したもんだ

こころくんの船乗りへの道

<http://p.booklog.jp/book/49404>

著者 : kotoba

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/kokorukun/profile>

著者ブログ : KOTOBA SHOP(<http://kotobashop.blog16.fc2.com/>)

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/49404>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/49404>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.